


申請者	学科名	デザイン工学科	職名	教授	氏名	村木 克爾
調査研究課題	中小企業の経営資源充実化を支援するための産学協働活動に関する調査研究					
調査研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	村木克爾	デザイン工学部 准教授	マネジメント工学	リーダー	
調査研究組織	分担者	山下明美	デザイン学部 教授	色彩Design	Visual Communication	
		高戸仁郎	情報工学部 教授	人間工学	Human Interface関連	
調査研究組織	分担者	山本登志子	保健福祉学部 准教授	生化学	生体安全性関連分野	
		アンソニー・ブルネリ	デザイン学部 准教授	言語学	デザイン技法関連分野	
調査研究組織	分担者	三原鉄平	デザイン学部 准教授	プロダクトデザイン	Branding Produce 関連分野	
		市川正美	情報工学部 准教授	振動解析	機械工学関連分野	
調査研究組織	分担者	上田篤嗣	デザイン学部 助教	グラフィックデザイン	Graphical Design 関連分野	
		樫尾聡美	デザイン学部 助教	造形Design	形状・機能関連分野	
調査研究実績の概要	<p>平成27年度の地域貢献特別研究では、産学官連携推進センターと緊密な連絡を取りつつ協調をして、提案型共同研究をベースにする地域企業へのアプローチと、既に地域コンソーシアムとして我々が独自に立ち上げているMoDDネットに参加あるいは賛同する企業を中心にした活動を実施した。以下に平成27年度に県内企業を対象に実施された主な成果について述べる。</p> <p>□ホテルリゾート下電グループ ゆのこう美春閣〔美作市〕</p> <p>平成28年に岡山県は9年ぶりのdestinationキャンペーンの対象自治体となり、晴れの国おかやまdestinationキャンペーンが行われるが、それを一つの視野に入れた同グループ傘下の「ゆのこう美春閣」の新たなブランディングの一環としてロゴマークの刷新に関して共同研究を締結、開始した。これは同グループ参加の下電ホテルと我々が数年前に行った共同研究の成果を考慮した上での同グループからの申し込みであり、継続的な地域貢献の現れであると考えている。</p> <p style="text-align: right;">右上 日本経済新聞記事 切り抜き</p>					
						

調査研究実績
の概要

（ 地域貢献への
反映を踏まえ
て記述のこと ）

□ 富士アイ・エム・シー株式会社〔岡山市〕 写真 右上2

富士アイ・エム・シーはウレタンフォームなどの発泡プラスチックあるいは工業用ゴム製品の加工を中心に、吸音、断熱、緩衝の諸性質を持つ広範囲の工業製品の加工製造をしている。同社の主力製品のひとつであるウレタン製の果物用フルーツキャップに高い衝撃緩衝・保護機能を付加しつつ他社と差別化が可能な洗練された見栄えを持つラッピング資材の開発に関する共同研究を行った。



□ 山県化学株式会社〔倉敷市〕 写真 右下2枚

同社はプラスチックマナイタのパイオニアで“はがせるマナイタ”を始め、業務用に特化して展開してきたが、耐久製品でもあるため限られたマーケットでは売り上げも漸減傾向である。そのため、一般コンシューマー向けの展開とともに2013年にユネスコの無形文化遺産となった和食のワールドワイドなブームに相まった海外展開なども見据えた新製品展開に関しての共同研究を展開した。



平成27年度において、MoDDチームを中心に行った地域貢献活動もまた全て新たなブランド展開に関連する新製品の開発に関係するものであり、中小規模に分類される企業の切実な希求がうかがえ、それらに対して些かの貢献をできたものとする。またMoDDネットに関連している企業を対象とした活動も例年と同様のレベルで行った。

